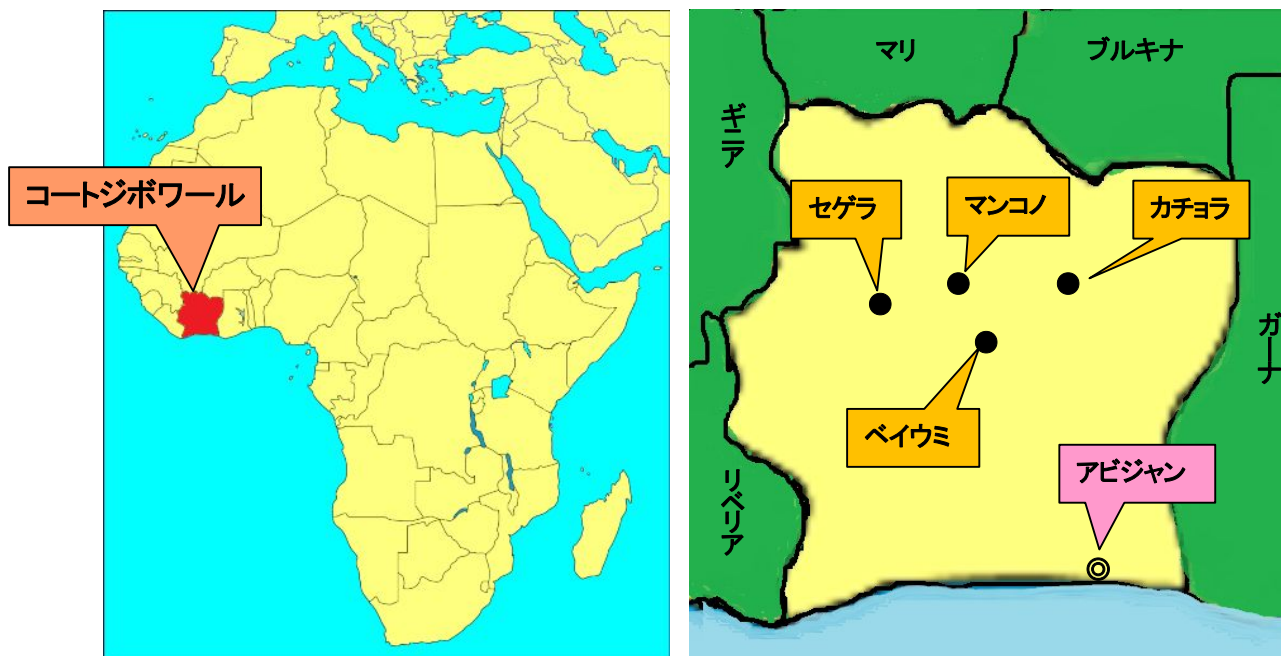


コートジボワールで黄熱の状況

2011年1月5日 ProMED 情報(IRIN)



黄熱ワクチンの全国規模の集団接種活動が、大統領選挙後の政情不安のため、現在妨げられています。WHO と現地保健担当者によると、この1ヵ月間で中央部～北部のセゲラ Seguela 地区、カチョラ Katiola 地区、ベイウミ Beoumi 地区で11名が死亡し、そのうち2名が確定診断されました。さらに、これらの地区とそれらの近くのマンコノ Mankono 地区で21名の疑い患者がいます。これらの疑い患者の一部はデング熱の可能性もあり、引き続き調査が実施されています。当初、集団ワクチン接種が昨年11月に計画されていましたが、治安悪化のため二度延期されました。

【ProMED 調整者】

2010年7月にも、今回の発生地域とは距離のある南部の首都アビジャン Abidjan で黄熱が発生しました。現在の状況は、政治紛争がいかに公衆衛生活動を不安定なものにし、対応能力の低下をもたらすかということを示しています。